

地球激變說(一) 石井重美

▲キュビエの激變說
古生物學の鼻祖として、有名なフランスのキュビエ(一七六九年—一八三二年)は、巴里にあつて動物の化石を研究中、それが現在地球上に生存して居るものと全く性質の違ったものであることを發見し所謂『激變說』なるものを唱道した。

此の説によるところ、吾々の地球は、古い地質時代に於て、度々、非常な激変(大規模にわたる陸地の隆起や、陥没や、さうして、それらに起因する洪水等)を蒙つたので、その都度

當時棲息して居た生物は、悉く絶滅する者として認められて居る者より前にやうになつた。地中に埋没して居る過去生物の遺骸たる化石が、現存生物を全く種類を異にするのはそのためであるといふのである。

▲アリストートルとヘルデルなどな學説でも、一般に、その創作者として認めて居る者より前にやうになつた。地中に埋没して居る過去生物の遺骸たる化石が、現存生物を全く種類を異にするのはそのためであるといふのである。

アリストートルとヘルデルの表面は、古來、局部的ではあるが、時々、異常に激烈な降雨に因る洪水の見舞を蒙り、そのため、當時の生物界が著しい打撃を受けたことを唱へた。

それから、十八世紀の後年に於ける力によつて、地表上の水中に出来た獨逸思想界の重鎮であつたヘルデル(一七四四年—一八〇三年)は、また、最初の生物は、原始的な創造の力によって、地中に出来たが、それは、其の後、地球がしばし経験した革命的大變動のために絶滅せしめられ、再びさらに入れたに造られるやうになつたと考へた。

そのやうに、キュビエ以前に於ても、單なる空想の所産であつて、確固とした事實の基礎の上に立つたもので

ある。何れも大體した事実の上に立つたもので、それは、何れも大體した事実の上に立つたものであるが、それも大體した事実の上に立つたものである。

大石内藏之助

半井桃水

大石内藏之助

半井桃水

百九十一回

「オ、蜜柑屋の清介どのが、商賣は

何うぢやな」

『此の寒いのに朝から晩まで、足を

摺木にして歩いても、とかく商賣の

一對賣つて來ましたぞや』

『はてさて夫は羨ましい事、私も商

賣がへてしませうかな』

折から四邊に人もなく、往來の足

の絶えたのを見て、倉橋は近松が耳

に口よせて私囁いた。

『吉良の家敷に一足でも、踏み入れ

變つた扇子を所持致す者があるなら

ば、來るやうに言へこの事』

近松の清介は夫と聞いて勇立ち、

『幸ひ拙者扇賣りに、一度はなつた

事も御座れば、早速扇子を買調へ、

清水方へ持參致さう、お蔭で本意を

達し申す』

『さはば斯様致さう、蜜柑の荷と扇

の荷を、お互に取へた上、變つた

買調へ、今足下の歸り途、行會ふた

事にして、直隣清水へ参る御座ら

う、さらば蜜柑の荷をお渡し申す』

扇賣と蜜柑屋は、忽ち此處で早變

れやうとも賣れまいとも、夫は何う

でも好い事の反

『何さま夫は好い工夫、近所で少々

商ひ、程なく一學に別れを告げた。

『イエもう先程お連れ下さりました

『では早く立歸らうぞ』

近松勘六の森清介は、扇子賣りに

致す時は、往きもかへりも足輕に送

り、左右前後をわづ取巻けば、勘六

足輕はちよつと、使ひに行つて居る

『エ、もう減相な事仰しやりますな

に、知れば一人も御座りませぬ』

『其の方身に覺えなければ、素直に繩に掛かるべき筈

上、いよいよ後悔の事がなければ、

其の時こそ放してつかはす』

所詮敵すべき氣色はなかつた。今

四邊見廻しつゝ、塀の隙から庭内を
ちよいと覗いた、二三歩にしてまた覗いた。
もなくツト顔はれた人の士。
勘六の清介は足輕に送られて、
良のお邸の、清水様と仰しやる方に
一對賣つて來ましたぞや』

『はぬ顔で立留まり、『お呼びなされましては、私で御

聲かけられて愕然しながら、何喰
ちや今足輕衆を呼で送らしてやる』

業の利助といふ者に逢ひました處、
勘六の清介は足輕に送られて、
學の長家へ通つた。

『京の扇賣りで御座ります、唯今同
業の方様で扇の御用、持つて出るやう
に申しましめたる、參上致して御

座ります』

女中への口上、奥の間から聽き付
けて、扇賣りが參つたのか、是へ通せ』

『扇賣りが參つたのか、是へ通せ』

『御覽なされで下さりませう』

『はて大方は同じ品ぢやの』

『仕入先が御影堂で御座りますゆ

参の扇子とにかく見やう』

『扇賣りか、御苦勞であつたの、持

參の扇子とにかく見やう』

主清水一學は、清介を座敷へ呼込

み、自然同じやうな品ばかり、お氣

に召さずば、今少し變つた物を目

に掛けます』

『仕入先が御影堂で御座りますゆ

参の扇子とにかく見やう』

『何も氣に入つたものがない、一對

だけ取て置かう、外に同業の者もあ

るなら、序の時立寄るやう申傳へて

貰ひたい』

はもう是まで、

SOCIEDADE TERRETORIAL SAMPAIO & MARCONDES LTD.

トス支店は今般左記の場所へ移轉仕候間
諸彦に謹告仕候
アンツー子ス・ドス・サントス會社
サントス支店新宿所
Rua do Commercio, 84 SANTOS

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 380
Rio de Janeiro

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候
◆賃金通帳は書留郵便にて御送付可申上候御申込の際請寄附便局御指定相成候は御便宜に有手にて當店へ御送り被下度候は横濱正金銀行御勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo 又は御便宜の方は Banco Nordeste do Estado de São Paulo へ御拂込被下候て差支無之候
四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下度候

OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社漁船發着廣告
北米バナマ經由
横濱、神戸行きリ
サンクトス發十一月十二日
オ港發十一月十五日
日本ヨリ
リオ港着十一月四日
サンクトス着十一月六日
より横濱ゆき
船客運賃一等三コント
尙詳細は左記へ御問合せ被下度候
Antunes dos Santos & Co.
S. Paulo :— Rua José Bonifácio, 17
Santos :— Rua do Comércio 84
Wilson Sons & Co., Ltd.
Rio de Janeiro :— Av. Rio Branco, 37

各地食糧店でお求め下さい
塩から 乾魚ケズリ節
製造本舗 三共商會

ヨコハマ正金

横濱正金銀行支店
ヨコハマセイキンギンヤフク